

平成22年度予算編成のポイント（予算編成要領の改正点等）

基本方針

- 1 「県民の^{いのち}生命とくらしを守る」ために、施策の一層の重点化を図り、「次世代の育成」を目指した予算編成を行う
- 2 財政構造改革プログラム等を着実に実行するとともに、収支改善に向け、更に一層の見直しを行うことにより、財源不足の縮減に取り組む

1 優先順位を見極めた施策構築と予算枠の配分

「滋賀県基本構想」の実現に向けた戦略的な取り組み
基本構想の実現に向けて、5つの重点テーマを設定し、戦略的な取り組みを実施

協働型県政への転換

県民、NPO、企業等の多様な主体と県行政がともに支え合い、分かち合い、高め合う協働型県政への転換

枠配分基準の明記とその厳守

平成21年度当初予算額を基礎として、財政構造改革プログラムや更なる事業見直しの取り組み、当然増減経費等を加味して収支フレーム全体を勘案して設定

ふるさと雇用再生特別推進事業・緊急雇用創出特別推進事業の活用

厳しい雇用情勢に対応し、本県の実情に応じた有効な雇用創出を図るため、両事業を積極的に活用

「ゼロ予算事業」の推進

特別な予算を伴うことなく、職員一人ひとりが知恵を出し、汗をかくことにより、政策課題の解決やきめ細かな県民サービスの向上を目指す取り組みを推進

2 財政の健全化の推進

滋賀県財政構造改革プログラム等に沿った収支改善への取り組み

財政構造改革プログラムおよび昨年度に策定した「収支改善に向けた更なる見直し」に沿った取り組みの着実な実行

収支改善に向けた更に一層の見直しの取り組み

直近の収支見通しを踏まえ、平成22年度予算編成に向けた見直しを実施

3 税収の動向・国の予算編成の動向に対する適切な対応

県税収入の動向や、国の予算編成、地方財政対策等の動向が判明次第、全庁を通じて調整

特に、国における制度変更等の動向を見極め、各部局が連携し、効果的な施策展開が図れるよう、予め戦略を検討

その上で詳細が判明次第、県予算への影響を踏まえ、必要な対応を実施

4 その他

全体の財源不足に対処し県財政の健全性を確保する観点から、調整を行う